

疾駆する馬上の龍樹

空という理と思考の理

つぎのき

ゆたか

梶木 裕 著 ▼46判・並製カバー！271頁 定価 二、七五〇円

2023年11月刊行



分析哲学の視点から、空思想の従来の弁証法的解釈を斥け、龍樹はことばに跨つて戦いながら、言語思考の広野を疾駆したことを考察。

【目次】

はじめに

考察一・主述形式の思考と無自性の原則

1. 「語れぬ」ものを「語る」齟齬
2. 分析・総合における概念的思维と有自性論
3. 「相關的なものは無自性」が原則
4. 間奏曲——言語行為という「遠見の角」

考察二・存在の虚ろ化と論理則の見かけの侵犯

1. 無自性論と述語論理
2. 論理則侵犯の許容は泥濘の途
3. 無分別の境地と「八不」
〔付論〕 ものとこと——論理性はことばの使用に伴う

考察三・無自性観に対する諾否の行方

1. 相対的自性の認否と第二十六章
2. この種の言語行為がはらむ問題点
3. 詭弁気味の議論・勇み足の議論
4. 思考の言語と『中頌』の帰謬法

あとがき

◆著者略歴

梶木 裕(つぎのき ゆたか)

一九四九年石川県生まれ。金沢大学法文学部哲史文学科卒業。京都大学大学院文学研究科修士課程修了。金沢女子短期大学文学科講師、金沢学院大学文学部教授、同学院学長、学園長を経て、現在、同学院名誉教授。浄土真宗本願寺派石川教区鹿島組所属。
主要著書・訳書・『現代の無我論——古典仏教と哲学』(晃洋書房、マーティン・ホルス『ゲーム理論の哲学——合理的行為と理性の狡智』(晃洋書房)、『文学でたどる浄土真宗のエートス』(探究社)、『他力を誤解するなかれ——ことばと念仏者の主体性』(探究社)
主要論文・『空へと至る基本的な論理と矛盾律』(『比較思想研究』第30号)、『行為の理解と当為判断』(『中部哲学学会報』第18号)。

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法藏館	梶木 裕著
定価 二、七五〇円	疾駆する馬上の龍樹
住所	空という理と思考の理
お電話	ISBN:978-4-8318-8798-6 C3015
お名前	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

仏教・比較思想